

## 研究結果概要書

研究テーマ：まちづくりセンター管理運営者の後継者問題

氏名：樋口琴音

浜田市では令和3年度から旧公民館からまちづくりセンターへと名称が変わり、その機能も社会教育とまちづくりという2つを担うものへと変化した。筆者は3年時のゼミナール活動におけるまちづくりセンターとの関わりを通して、このまちづくりセンターが地域活動の拠点となっていることを強く実感した。そして住民一人一人がいきいきと暮らすためにもまちづくりセンターの役割をしっかりと果たせるような資質や能力を持ち合わせた職員が必要であると考えられるようになった。そこで本研究の目的をまちづくりセンター職員としてのあるべき姿を明らかにすることとした。

第1章では研究の目的や背景、動機、期待される効果について述べた。

第2章では先行研究として、まちづくりセンターの役割、社会人基礎力について調べ、ヒアリング調査に向けての現状把握を行った。

それをもとに第3章ではヒアリングの概要とその結果について述べている。ヒアリングから得た意見を社会人基礎力の12の能力要素とそのいずれにも当てはまらない能力要素に分類し、3つの対象区分（行政（M）・行政（P）・一般住民）それぞれの共通点と相違点についてまとめた。

第4章ではまちづくりセンター職員の理想像やそれを実現するための解決策を提案している。社会人基礎力の12項目の中でも特に意見が集中した主体性・働きかけ力・傾聴力・状況把握力の4項目をもとに、「積極的に学ぶ姿勢を常に大切にし、責任を取る覚悟をもって行動できる人」「人の考えを自分で終わらせず様々なコーディネートによって広げていける人」「誰に対しても話しやすい雰囲気を作り、本音を引き出せる人」「周囲の状況をよく理解し、自身の立場・役割や周囲への声掛けを柔軟に変えていける人」という4つの理想像を提案した。そしてその理想像に近づけるためにSL理論というリーダーシップに関する理論を活用してはどうかと提案している。これによって部下にとって高いモチベーションをもって働ける職場になり、結果として次のまちづくりセンター管理運営者の育成にもつながることが期待できる。

最後に5章にて本研究のまとめを行った。本研究を通して非常に多くの意見を聞くことができ、「まちづくりに正解はない」ということを実感した。地域の実情が日々移り変わっていく中で、変化にも柔軟に対応しながらまちづくりに携わっていくことの大切さを改めて感じた。